

《近世建築論集》

图书基本信息

内容概要

なぜ「近世 (= pre-modern)」なのか？

ちょんまげをゆった科学者、もしくは数学者。そう耳にしたとき、私達はある不思議な感覚をおぼえます。それは、私達が「近世」と「近代」という時代を、断絶した別世界であると認識していることに由来するのでしょうか。

そして、日本という一国家においてえがかれる建築史は、いまだ、そうした「近世」という時代区分がはらんでいる認識のギャップを巧みに利用しています。それは、近世の不可思議さを隠し持つことによって、日本近代という時代に、かえって独自の彩りを添えているのです。

あとがきより

本書で扱われてきたのは、一八、九世紀を中心とした日本の多くの建築技術書である。現在では全く忘れられた棟梁や大工たちによる記録である。彼らが当時、その刊行によって、社会的な名や財をなすつもりだったかどうかは、不明である。しかし一方で、そのようなあまたの動機にかかわりなく、公に開いておくべき成果が存在すると確信することは、彼らにとっても、そして私たちにとっても自由である。

《近世建築論集》

書籍目錄

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu000.com